



山道での階段作りに汗を流す高知県立大学の学生（佐川町本郷耕）

県大生 尾川で久々活動

佐川町 山道で階段作りに汗

【佐川】高岡郡佐川

町尾川地区にある尾川城跡への山道を歩きやすくしようと、高知県立大学の学生と住民がこのほど、協力して階段を設けた。新型コロナウイルスの影響で活動を自粛していた学生たちは、久々の住民との交流を楽しみながら

作業に汗を流した。

協力したのは県大の学生団体「活輝創生実行委員会」の2、3年

生10人。地区の秋祭りを手伝うなど住民と交流しており、この日は

約1年ぶりの本格的な活動となった。

標高約300mで良い眺めが楽しめる尾川城跡

へは山道を30分ほど歩く必要がある、整備を計画。学生と尾川地区活性化協議会のメンバーで急な坂などに約60本の丸太を固定し、階段を作った。

整備後は格段に歩きやすくなり、協議会の沢村重隆会長(73)は「地元の人間だけではできない作業。本当に学生のおかげです」。2年の畑中快斗さん(20)は「やっと活動ができて、達成感や楽しさ、

地域の人たちの温かさを表情で話していた。
を感じた」と、充実し
(楠瀬健太)